北海道医師会館９階理事会室

第９回常任理事会

日　時　平成23年8月9日（火）18：00～19：31
場　所　北海道医師会館9階・理事会室
出席者　長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邉・三戸・小山・目黒・藤井・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤各常任理事、中村・大口各監事
（事務局：島影事務局長ほか11名）

協議事項

第１号　平成23年度一般会計収支予算の補正に関する件（深澤常任理事）

役員退職慰労金、職員退職給付金、東日本大震災等による支出、地域産業保健事業の受託金の減額、北海道からの地域自殺対策緊急強化推進事業に対する新規補助金増額、社保対処費の処理に伴う積立金ならびに会員共済制度の廃止に伴う積立金の問題等々による平成23年度一般会計の補正予算（案）を承認決定。

第２号　平成23年度社保対処費特別会計収支予算の補正に関する件（深澤常任理事）

本年３月の代議員会の決定に基づき、44郡市医師会に対する助成金配賦後の残額を、一般会計に「社会保障対策積立金」という科目を設置し、本会計の補正予算（案）を承認決定。社保対処費特別会計は本年度末で閉じることとなる。

第３号　平成23年度収益事業特別会計収支予算の補正に関する件（深澤常任理事）

職員の退職に伴う平成23年度本会計の補正予算（案）を承認決定。

第４号　平成23年度会員共済特別会計収支予算の補正に関する件（深澤常任理事）

昨年３月の代議員会の決定に基づき、給付事業の最終処理と会員に対する返還等の清算処理が終了、残額を一般会計に「災害支援積立金」という科目を設置し、本会計の補正予算（案）を承認決定。会員共済特別会計は本年度末で閉じることとなる。

第５号　北海道医師会会計処理規程の一部改正に関する件（三戸常任理事）

一般会計に「社会保障対策積立金」ならびに「災害支援積立金」の科目新設することに伴い、本会計処理規程を一部改正することと決定。

第６号　公益法人制度改革に伴う北海道医師会の法人移行方針に関する件（深澤常任理事）

当会顧問公認会計士による当会の事業・財務分析では、「公益社団法人」の認定要件である財務３基準、「公益目的事業比率50％以上の継続」「収支相償」「遊休財産保有制限」を満たすことは現状では厳しいとの結果判定であることを踏まえ、当会は「一般社団法人の非営利型」を目指すとの移行方針を承認決定。新法人への移行は「平成25年４月１日」を予定し認可申請の準備を進める。

第７号　第136回北海道医師会臨時代議員会の開催に関する件（深澤常任理事）

９月11日（日）午前10時から当会館８階会議室で開催する臨時代議員会の日程と提出議題を決定。

第８号　平成23年北海道医師会臨時総会の開催に関する件（深澤常任理事）

９月11日（日）午後２時30分から当会館８階会議室で開催する臨時総会の提出議題を決定。

第９号　第２回郡市医師会長協議会の開催に関する件（深澤常任理事）

11月13日（日）午前10時から当会館８階会議室で開催することと決定。

第10号　北海道医師会創立64周年記念行事の開催に関する件（深澤常任理事）

11月13日（日）午後１時30分から札幌グランドホテルで開催する記念講演、記念式典、記念祝賀会の日程と次第を決定。

第11号　平成23年度道医・日医会費減免追加申請に関する件（深澤常任理事）

道医会費減免申請者　一般減免１名、研修医４名、合計５名　免除額56,000円、日医会費減免申請者　一般減免１名、免除額19,000円、以上の減免を承認決定。

第12号　第３回理事会の議案に関する件（深澤常任理事）

８月20日（土）午後４時から当会館９階理事会室で開催する理事会の提出議案を決定。

第13号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邉常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座42件、道医認定生涯教育講座52件、合計94件を承認することと決定。

第14号　その他

１）第４回理事会（移動）［10月８日（土）・北見市］の開催スケジュールに関する件（深澤常任理事）

10月８日（土）午後4時から北見プラザホテルで開催と決定。

報告事項

1．医業経営講習会［7月27日（水）・苫小牧市、8月3日（水）・網走市］について（伊藤常任理事）

本年度は、苫小牧市医師会と網走医師会の2ヵ所で開催し、中村道医顧問税理士から「医業経営の税制と遺産相続（特に税制）」と題した講演の後、贈与税に関する質疑応答がなされた。

2．緊急臨時的医師派遣事業第5回運営委員会［7月28日（木）］について（宮本副会長）

新たに派遣申請のあった2医療機関の状況について条件を精査の上、派遣を決定した。また、新たな派遣元として2医療機関が登録された。

3．日医第7回男女共同参画フォーラム［7月30日（土）・秋田市］について（北野常任理事）

秋田県医師会の担当により、秋田市で開催された。当日は「これからの『支え手』を考える－男女共同参画と子ども・子育て支援－」と題し、内閣府政策統括官の村木厚子氏による基調講演が行われ、次に「災害と男女共同参画」についての提言があり、その後、日医男女共同参画委員会の活動内容、日医女性医師支援センター事業についてそれぞれ報告があった。また、「育てる～男女共同参画のための意識改革から実践へ～」をテーマにシンポジウムが行われ、総合討論の後、本フォーラムの宣言が採択された。参加者は291名（うち男性129名、女性162名）。次回は富山県医師会担当で来年7月28日（土）に開催予定。

4．診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業学習会［8月2日（火）・東京都］について（橋本常任理事）

日本医療安全調査機構の原中央事務局長（青梅市立総合病院長）からモデル事業の現況報告があり、東京医科大学の相馬教授から、自病院での事例をモデル事業に届け出た経緯と患者対応や根本原因の追及スキルについて発表が行われた。また、原事務局長から、現在検討されている「協働型モデル」について早ければ、9月中に各学会に報告して同意を得て、10月には開始するとの説明が行われた。

5．第24回全国有床診療所連絡協議会総会［8月6日（土）～7日（日）・さいたま市］について（深澤常任理事）

埼玉県有床診療所協議会・埼玉県医師会の担当にて開催された。1日目は総会の後、日医・原中勝征会長による講演「将来に向けての有床診療所の役割」が行われた。2日目は、シンポジウムⅠ「在宅医療の支援」として、日医・三上裕司常任理事より基調講演「在宅医療における有床診療所の役割」の後、3名のシンポジストにより行われた。引き続き、シンポジウムⅡ「有床診療所経営の現状」では、日医総研・江口成美主席研究員より基調講演「前回報酬改定の影響と今後の方向性」の後、3名のシンポジストにより行われた。次回総会は、宮崎県有床診療所協議会・宮崎県医師会の担当にて開催される予定。

6．外部各委員会報告

⑴ 第1回北海道介護予防・地域包括ケア市町村支援委員会［7月29日（金）］について（前川常任理事）

委員長に杉岡直人（北星学園大学教授）が選出され、地域包括ケア推進、市町村支援委員会の平成22年度検討項目、住民参加の効果的取り組み、平成23年度の地域包括支援などについて報告説明が行われ、新年度の介護予防・地域包括ケア町村支援委員会の開催計画について協議した。

⑵ 北海道地方薬事審議会［8月4日（木）］について（三宅副会長）

当会より宮本副会長と小職が出席した。今年度第1回目の開催であることから、まず会長・副会長の選出を行い、会長には小職、副会長には酪農学園大学獣医学部・北澤教授を選出した。引き続き同審議会第1部会（薬事衛生、医薬品の取扱い等に関する事項を調査審議する部会）を開催し、部会長に小職、部会長職務代理者に道薬剤師会・東洋会長を選出した。同部会では「医薬品の適正使用の推進」「青少年に対する薬物乱用防止対策の強化」に関する活動報告が道担当者からなされた後、「北海道大麻取扱指導方針の一部改正」について協議を行った。

⑶ 第3回北海道がん診療連携協議会［8月6日（土）］について（畑副会長）

本協議会は、がん診療連携拠点病院に指定されている道内21医療機関で構成されるもの。7月25日に国立がん研究センターにて開催された「第4回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会」の報告後、本協議会の5専門部会（相談・情報部会、がん登録部会、診療支援部会、地域連携クリティカルパス部会、研修部会）のそれぞれの進捗状況について報告があった。また、北海道からは「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」の一部改正について解説があるとともに、「北海道がん対策推進条例」（仮称）の制定へ向けて準備中であるとの情報提供があった。最後に総合討論が行われ、緩和・在宅パスの必要性、人材育成全般、北海道厚生局の本協議会メンバーへの参加、がん対策推進条例のあり方等に関し、活発な討論が行われた。

7．各部報告

⑴ 第4回総務部・財務部合同担当理事会［8月8日（月）］について（深澤常任理事）

公益法人制度改革にかかわる当会の事業分析の結果について、第2回定款等検討委員会の開催について、当会文書管理規程の全面改正について等協議した。

8．その他

⑴ 会員数について（深澤常任理事）

平成23年７月31日現在の会員数は、8,394名で、内訳はA会員2,554名、Ｂ１会員575名、Ｂ２会員4,568名、Ｃ１会員111名、Ｃ２会員174名、Ｃ３会員412名となっている。日医会員は、6,044名である。

第３回理事会

日　時　平成23年8月20日（土）16：00～17：55
場　所　北海道医師会館9階・理事会室
出席者　長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邉・三戸・目黒・藤井・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤各常任理事、山光・島田・伊藤・津田・倉増・山下・古屋・堀・杉元・飯塚各理事、水元・中村・大口各監事、塩野議長、本間副議長。
（事務局：島影事務局長ほか12名）

１．開　　会
２．会長挨拶
３．報告事項

⑴　日医理事会報告（長瀬会長）

医療計画の見直し等に関する件や、第125回日医代議員会の開催に関する件等の議題があった。なお、日医で募った義援金は、17億８千万円に達したことが報告された。

⑵　日医各委員会報告

１）救急災害医療対策委員会［５月26日（木）、７月27日（水）］について（目黒常任理事）

東日本大震災におけるJMAT活動の課題、問題点等について検討がなされ、今後は被災地の公衆衛生上の問題点などを含め健康支援が必要となった場合、JMATⅡとして動員要請を行う方針が示された。また、JRCガイドライン2010に対する日医の対応については、改定に合わせ救急の日ポスター、ホームページなどを修正することが報告された。

２）医師会共同利用施設検討委員会［６月１日（水）、７月29日（金）］について（伊藤理事）

会長諮問「地域社会に貢献する医師会共同利用施設の今後の方向性について」に関するフリートーキングが行われ、その後、９月３・４日山形市にて開催される「第24回全国医師会共同利用施設総会」のプログラムについての説明があった。

３）社会保険診療報酬検討委員会［６月１日（水）、８月３日（水）］について
（橋本常任理事）

平成24年度診療報酬・介護報酬同時改定について、日医が政府に示した方針を、社会保険診療報酬検討委員会として支援していくことを確認。日医は診療報酬全面改定の見送りを主張していくものの、不合理な点は是正を要望していくことから、委員会としては是正すべき項目をピックアップし、検討を重ねていくこととした。

４）生涯教育推進委員会［６月３日（金）］について（渡邉常任理事）

生涯教育協力講座セミナーとインターネットによる教育協力講座および教育講座について報告があり、「総合医」「総合診療医」についての共通認識、カリキュラムなどについて協議された。

５）医事法関係検討委員会［６月15日（水）］について（山光理事）

医療分野における根源的な基本法のあり方や方向性などについて種々協議してきたが、さらに基本理念を明確にし、医療専門職能の集団的自立性などについて慎重に検討していくこととした。

６）介護保険委員会［６月16日（木）］について
（前川常任理事）

「介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」が成立したが、介護療養病床の廃止の６年延期、介護職のたん吸引、24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護・看護、複合型サービスなどいろいろと問題点があり、計画立案について厚労省との直接的なやり取りが図られるよう今後も協議していくこととした。

７）広報委員会［６月16日（木）］・日医ニュース編集WG［７月14日（木）］について
（山科常任理事）

いずれもTV会議システムにより参加した。委員会では、「日医ホームページ検討WG」「日医ニュース編集WG」それぞれの座長から「活動・進捗状況報告」がなされた後、各委員から意見を聴取した。日医ニュース企画「JMAT活動報告」の掲載継続について検討し、９月５日号に北海道JMATからの報告を掲載することを決定した。

日医ニュース編集WGでは、最初に８月分の日医ニュース企画案を確認し、座長提出の「日医ニュース」ブラッシュアップ案について、双方向性発信、勤務医のページについて協議した。また、今後の大震災関連記事の掲載方針についてディスカッションを行った。さらに、専門家を招き「放射能汚染と健康被害」をテーマに座談会を行い、９月５日号の１面に掲載することを決定した。

８）医療IT委員会［６月23日（木）］について
（水谷常任理事）

最初にORCA-WGおよび認証局WGに分かれ

て討議が行われ、小職は認証局WGに参加し、答申作成に向け検討を行った。次いで全体委員会が開催され、石川常任理事から中央情勢について近況報告があった。続いて両WGからの報告と意見交換を行った。最後に日医認証局に関する協議を行い閉会した。

9）看護職員検討委員会［6月29日（水）］について（北野常任理事）

会長諮問に関するフリートーキングを、チーム医療推進のための看護業務検討プロジェクトチーム、ワーキンググループの報告書を基に行った。

10）男女共同参画委員会［7月1日（金）］について（藤井常任理事）

今後の女性医師支援センター事業ならびに男女共同参画フォーラムについて検討を行ったほか、災害と男女共同参画について協議した。また、答申作成に向け、項目の確認と分担、今後の進め方等について検討を行った。

11）地域医療対策委員会［7月1日（金）］について（三宅副会長）

地域連携における医療圏のあり方、４疾病５事業、地域の医師不足等についての論点を整理し、検討を行うこととした。

12）病院委員会［7月6日（水）］について（直江常任理事）

武久洋三先生（日本慢性期医療協会会長）の講演のあと議事に入った。今回は、在宅医療と中小病院のあり方と今期病院委員会報告書の取りまとめについて協議した。

13）勤務医委員会［7月8日（金）］について（岡部常任理事）

平成23年度全国医師会勤務医部会連絡協議会（10月29日・富山市）の内容確認ならびに平成23年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会（11月30日）の進め方等について協議した。また、当委員会答申に関する項目および執筆者について検討を行った。

14）医療安全対策委員会［7月22日（金）］について（橋本常任理事）

各委員からパイロットスタディの実績と新年度のプロジェクトについて報告が行われ、平成24年1月15日（日）に開催される医療事故防止研修会の講師の人選、「医療事故削減戦略システム」の見直しについて協議した。

15）労災・自賠責委員会［8月10日（水）］について（深澤常任理事）

はじめに、日本医師会・奥平参与（弁護士）と「交通事故診療における健保使用問題に関する意見交換」を行った。意見交換終了後、委員会審議に移り「労災・自賠責に関する研修の実施について」「次期労災診療費算定基準改定に向けての要望事項について」「交通事故診療に係る健保使用問題に関するアンケート調査について（集計状況）」「健保使用問題にかかわる議論の整理について」等、協議・意見交換した。

⑶　その他

1）平成23年度版会員名簿の発行と掲載方法の変更について（深澤常任理事）

今年度の会員名簿の発行に関し、掲載項目や形式等の変更につき決定した。

2）診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業について（橋本常任理事）

日本医療安全調査機構では10月から、「従来型モデル」に加え「協働型モデル」を実施する予定である。この協働型モデルは、院内調査委員会を設置した実績を持つ医療機関を対象とし、依頼のあった医療機関にモデル事業側から解剖立会医を派遣するものである。地域の医師会においても周知してほしい。

4．承認事項

⑴　外部各委員会等委員の推薦について（深澤常任理事）

「新たな北海道病院事業改革プランの策定に係る検討委員会」委員に直江常任理事を、「北海道介護予防・地域包括ケア市町村支援委員会」委員に前川常任理事を、北海道健康づくり財団の「新公益法人移行に伴う最初の評議員」候補者に宮本副会長・山光理事を、「北海道歯科保健連絡協議会」構成員に岡部常任理事を推薦することと承認決定。

⑵　北海道医師会会計処理規程の一部改正について（三戸常任理事）

一般会計に「社会保障対策積立金」ならびに「災害支援積立金」の科目新設することに伴い、本会計処理規程を一部改正することと承認決定。

5．協議事項

第1号　平成23年度一般会計収支予算の補正に関する件（深澤常任理事）

役員退職慰労金、職員退職給付金、東日本大震災等による支出、地域産業保健事業の受託金の減額、北海道からの地域自殺対策緊急強化推進事業に対する新規補助金増額、社保対処費の処理に伴う積立金ならびに会員共済制度の廃止に伴う積立金の問題等々による平成23年度一般会計の補正予算（案）を承認決定。

第2号　平成23年度社保対処費特別会計収支予算の補正に関する件（深澤常任理事）

本年3月の代議員会の決定に基づき、44郡市医師会に対する助成金配賦後の残額を、一般会計に「社会保障対策積立金」という科目を設置し、本会計の補正予算（案）を承認決定。社保対処費特別会計は本年度末で閉じることとなる。

第３号　平成23年度収益事業特別会計収支予算の補正に関する件（深澤常任理事）

職員の退職に伴う平成23年度本会計の補正予算（案）を承認決定。

第４号　平成23年度会員共済特別会計収支予算の補正に関する件（深澤常任理事）

昨年３月の代議員会の決定に基づき、給付事業の最終処理と会員に対する返還等の清算処理が終了、残額を一般会計に「災害支援積立金」という科目を設置し、本会計の補正予算（案）を承認決定。会員共済特別会計は本年度末で閉じることとなる。

第５号　公益法人制度改革に伴う北海道医師会の法人移行方針に関する件（深澤常任理事）

当会顧問公認会計士による当会の事業・財務分析では、「公益社団法人」の認定要件である財務３基準、「公益目的事業比率50％以上の継続」「収支相償」「遊休財産保有制限」を満たすことは現状では厳しいとの結果判定であることを踏まえ、当会は「一般社団法人の非営利型」を目指すとの移行方針を承認決定。新法人への移行は「平成25年４月１日」を予定し認可申請の準備を進める。

第６号　第136回北海道医師会臨時代議員会の開催に関する件（深澤常任理事）

９月11日(日)午前10時から当会館８階会議室で開催する臨時代議員会の日程と提出議題を決定。

第７号　平成23年北海道医師会臨時総会の開催に関する件（深澤常任理事）

９月11日(日)午後２時30分から当会館８階会議室で開催する臨時総会の提出議題を決定。

第８号　平成23年度北海道医師会賞受賞者に関する件（渡邉常任理事）

８月11日の受賞者選定委員会で選定された６名を本年度の受賞者と決定。

第９号　第２回郡市医師会長協議会の開催に関する件（深澤常任理事）

11月13日(日)午前10時から当会館８階会議室で開催することと決定。

第10号　北海道医師会創立64周年記念行事の開催に関する件（深澤常任理事）

11月13日(日)午後１時30分から札幌グランドホテルで開催する記念講演、記念式典、記念祝賀会の日程と次第を決定。

第11号　平成23年度道医・日医会費減免追加申請に関する件（深澤常任理事）

道医会費減免申請者　一般減免１名､研修医４名、合計５名　免除額56,000円、日医会費減免申請者　一般減免１名、免除額19,000円、以上の減免を承認決定。

第12号　理事提案事項

伊藤理事より、東日本大震災の被災地に出向いたJMATが、現地での指揮命令系統がはっきりしないために活動の機会が少なかったこと、これが改善されなければ再度の要請があっても派遣が難しいとの意見が出された。

第13号　その他

１)第４回理事会(移動)[10月８日(土)･北見市]の開催スケジュールに関する件（深澤常任理事）

10月８日(土)午後４時から北見プラザホテルで開催と決定。

６．道総医協関連事項（三宅副会長）

平成23年５月28日の第２回理事会以降の会議について報告した。

７．閉　　会

第10回常任理事会

日　時　平成23年8月22日（月）18：38～19：55
場　所　北海道医師会館9階・理事会室
出席者　長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・三戸・小山・目黒・藤井・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤各常任理事、水元・中村・大口各監事
（事務局：島影事務局長ほか12名）

協議事項

第１号　母体保護法医師指定に関する件（深澤常任理事）

８月17日の審査委員会で指定「可」とされた新規１名、再審３名の申請者を指定医師とすることに決定。

第２号　北海道HTLV－１母子感染対策協議会に係る委員の推薦に関する件（深澤常任理事）

地域保健部長の岡部常任理事を推薦することと決定。

第３号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（目黒常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座45件、道医認定生涯教育講座29件、合計74件を承認することと決定。

第４号　日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（小山常任理事）

認定要件を満たした新規９名、更新16名の申請を承認。日医へ申請することと決定。

第５号　日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（小山常任理事）

認定要件を満たした新規１名、更新１名の申請を承認。日医へ申請することと決定。

第６号　その他

・９月行事予定表に関する件（事務局）

報告事項

１．医育ブロック会議[８月11日(木)]について（深澤常任理事）

三医育機関医師会長ならびに学長等の出席のもと「医学部教育と臨床研修制度の見直しについて」をテーマに畑副会長から話題提供の後、意見交換を

行った。

２．北海道歯科保健連絡協議会総会［８月19日（金）］について（岡部常任理事）

北海道歯科医師会内に既に設置されている本協議会に今回依頼を受けて構成員として初めて小職が参画した。会長に北海道歯科医師会会長の富野晃氏、副会長に北海道大学大学院歯学研究科教授の北川善政氏ならびに北海道医療大学歯学部教授の古市保志氏が決定。その後、協議会内の３専門委員会（地域歯科医療専門委員会、地域歯科保健専門委員会、学校歯科保健専門委員会）での重点協議事項の説明・協議とともに事業の進捗状況について報告があった。

３．政経問題懇話会［８月20日（土）］について（直江常任理事）

宮本太郎北海道大学大学院法学研究科教授を招聘し「税と社会保障の一体改革　その経緯と展望」というテーマで、ご講演いただいた。

４．第５回ほっかいどう健康塾［８月21日（日）］について（藤井常任理事）

当会と読売新聞北海道支社等が主催し、北海道の後援による市民対象の講演会を札幌市内において開催。小職を含む主催者挨拶の後「不整脈ってどんな病気～怖い不整脈・怖くない不整脈」と題してＮＴＴ東日本札幌病院循環器内科部長の甲谷哲郎氏より講演が行われた。参加者は96名であった。

５．日本医師会・四病院団体協議会主催 市民公開セミナー「医療と消費税」［８月21日（日）・東京］について（伊藤常任理事）

約1,800名の参加者の下、最初に横倉日医副会長と日本精神科病院協会の山崎会長から主催者挨拶の後、基調講演（３題）とパネルディスカッションが行われた。演者は、医師で作家の海堂尊氏、ジャーナリストの堤美果氏、日本医師会常任理事の今村聡氏で、パネルディスカッションでは、医療ジャーナリストの田辺功氏、税理士の船本智睦氏、四病協医業経営・税制委員会委員長の伊藤伸一氏が加わり、活発な意見交換がなされ盛会裏に終了した。

６．外部各委員会報告

⑴　新たな北海道病院事業改革プラン検討委員会第１回会議［８月10日（水）］について（直江常任理事）

委員長に小職が選出された。その後、新たな北海道病院事業改革プラン策定の趣旨、道立病院の概要および今後のスケジュールについて説明があり、意見交換を行った。

⑵　北海道医療審議会地域医療部会［８月19日（金）］について（三宅副会長）

へき地等病院の医師配置標準特例措置申請があった１件について審議を行い、承認した。また、北海道における地域医療支援病院承認に関する今後の対応について報告を受け、意見交換を行った。

⑶　北海道医療審議会医療法人部会［８月19日（金）］について（畑副会長）

社会医療法人の認定は５件、医療法人の設立認可申請は医科診療所16件。解散認可申請は病院１件、医科診療所11件それぞれ『可』とされた。

７．中央情勢報告（直江常任理事）

「規制・制度改革に関する分科会第二次報告書」が７月21日に取りまとめられ、７月22日に閣議決定された「規制・制度改革に係る追加方針」について解説した。